

## 外部委託業者の募集

References: IO/22/OT/70000900/JCL

### “Scaffolding services at ITER Site”

(ITER サイトにおける足場作業)

IO 締め切り 2022 年 12 月 9 日(木)

## 〇はじめに

この事前指示通知 (PIN) は、枠組契約の締結及び履行につながる公開入札調達プロセスの最初のステップです。

この文書の目的は、業務の範囲と入札プロセスの観点から、技術的内容の基本的な概要を提供することです。

国内機関は、次回の入札に先立って、これらの業務/工事を提供できる企業、機関またはその他の団体が入札の詳細を事前に通知する前に、この情報を公表する必要があります。

## 〇背景

ITER プロジェクトは、欧州連合 (EURATOM が代表)、日本、中華人民共和国、インド、大韓民国、ロシア連邦、米国の 7 加盟国が共同出資する国際研究開発プロジェクトです。欧州では、ITER 機構 (IO) の本部 (HQ) の所在地でもあるフランス南部のサンポール・レ・デュランスにて ITER が建設されています。

プロジェクトの組織的側面と技術的側面の両方をカバーする ITER プロジェクトの詳細な説明については、[www.iter.org](http://www.iter.org) を参照してください。

## 〇作業範囲

現在の入札プロセスは、ITER サイトで足場サービスを提供するための ITER 機構との枠組み契約の設定を目指しています。供給に必要なサービスは以下の通りです。

- 安全なアクセス手段、
- 保護及び集団的保護
- 足場、作業台、支保工塔及び
- システムや機器を設置するためのリフティング構造と位置。

場合によっては、構造物を固有の初めて建設する (FOAK) 機器の近くにインストールするため、すべての処理操作が重要と見なされ、限定され、適切な監督下でのみ建設可能である場合があります。また、保護重要作業 (PIA)、保護重要機器 (PIC)、異物混入防止 (FME) など、アセンブリフェーズ中のクリーンな環境を保証する固有のニーズについても考慮する必要があります。

このプロジェクトは「初めて建設する」原子力建設であるため、契約者は原子力の安全性と品質に関する能力の向上に継続的に努めなければならないことに留意することが重要です。

ITER 機構は、建設事業管理会社 (CMA) のサポートを受けて、建設者による構造要求を予測して制

御することを目的としたワークフローを設定しました。それでも予期せぬ現場ニーズに対応するため、通常のプロセスで対応できない場合には、契約者に直前の通知で介入を要請します。

納入される構造物の大部分は基本設計(供給者がメーカーのマニュアル、技術通知を通じて裏付けできること)となります。構造物がメーカーのマニュアルや技術的な通知によって裏付けできない場合は、詳細な設置計画とそれに伴う計算ノートを提示する必要があります。

通常、この文書は、最初の試運転検査を可能にするために設置後に提供されるものとします。ただし、一部の地域(すなわち、構造物が他の構造物の上に乗っている場合、または表面上の許容荷重が制限されている場合)では、環境への負荷を検証するために、事前に計算ノートを要求する場合があります。設置中に契約者が初期設計から逸脱する義務がある場合、計画および最終計算ノートはそれに応じて更新されるものとします。

予想される業務のほとんどは、11 号建屋トカマクビル、74 号建屋計測建屋、14 号建屋トリチウムビル、B 15 RF ヒート建屋で構成されるトカマク複合施設建屋（作業現場 2）で行われます。

## 図 1-ワークサイト 2 の概要

(詳細は英文技術仕様書を参照ください)

### ○調達プロセスと目的

目的は、競争入札プロセスを通じて供給契約を落札することです。

この入札のために選択された調達手続きは公開入札手続きと呼ばれます。

オープン入札手順は、次の 4 つの主要なステップで構成されています。

#### ステップ 1:事前情報通知 (PIN)

事前通知は、公開入札プロセスの第 1 段階です。IO は、企業、機関またはその他の団体に入札の機会について事前に警告するために、今後の入札に関する情報を公表するよう国内機関に正式に要請します。関心のある入札者は、下記の調達予定表に記載されている期日までに、Jeremy.Chil@iter.org と CC で Guillaume.Retaillaud@iter.org 宛に電子メールで利子明細書（付属書 I）を返送してください。

#### ステップ 2:入札への招待 (ITT)：

事前指示通知 (PIN) の公表から少なくとも 10 営業日後に、入札への招待状 (ITT) が IO のウェブサイトに広告されます。この段階では、PIN を見た関心のある入札者が入札書類を入手し、入札説明書に従って提案書を作成して提出することができます。

#### ステップ 3:サイト訪問

プロジェクトと契約期間中に提供される足場での予想されるニーズを提示するために、ITER サイトでサイト訪問が計画されます。入札に参加したい候補者は、サイト訪問が必須です。

#### ステップ 4:入札評価プロセス

入札者の提案は、IO の公平な評価委員会によって評価されます。入札者は、技術的範囲に沿

って、かつ、契約への招待（ITT）に記載された特定の基準に従って作業を実施するために、技術的遵守を証明する詳細を提供しなければなりません。

#### ステップ 5-契約授与

枠組み契約は、公開されている契約への招待（ITT）に記載されている、コストに見合った最適な価格または技術的に準拠した最低価格に基づいて授与されます。

### ○概略日程

概略日程は以下の通りです：

| マイルストーン       | 暫定日程        |
|---------------|-------------|
| 事前指示書（PIN）の発行 | 2022 年 11 月 |
| 関心表明フォームの提出   | 2022 年 12 月 |
| 入札の発行         | 2022 年 12 月 |
| サイト訪問         | 2023 年 1 月  |
| 入札提出          | 2023 年 3 月  |
| 契約授与          | 2023 年 7 月  |
| 契約調印          | 2023 年 8 月  |
| 契約開始          | 2023 年 9 月  |

### ○契約の実行

ITER 機構は、2023 年の第二部で枠組み契約を締結します。結果として生じるフレームワーク契約は、52 か月の推定期間となります。

ITER の公用語は英語です。すべての管理と調整の役割には、流暢な専門家レベル（口頭と書面）が必要です。サイトリソースは、フランス語または英語を使ってサイトミーティングでコミュニケーションを取り、参加できるものとします。

### ○候補

参加は、個人またはグループ/コンソーシアムに参加するすべての法人に開放されます。法人とは、法的権利及び義務を有し、ITER加盟国内に設立された個人、企業又は機構をいいます。

法人は、単独で、またはコンソーシアムパートナーとして、同じ契約の複数の申請または入札に参加することはできません。共同事業体は、恒久的な、法的に確立されたグループ又は特定の入札手続のために非公式に構成されたグループとすることができます。

コンソーシアムのすべての構成員(すなわち、リーダーと他のすべてのメンバー)は、ITER機構に対して連帯して責任を負います。

コンソーシアムとして許可されるために、その点で含まれる法人はコンソーシアムの各メンバーをまとめる権限をもつリーダーをもたなければなりません。このリーダーはコンソーシアムの各目メンバーのために責任を負わなければなりません。

指名されたコンソーシアムのリーダーは、入札段階でのカバーレター(入札への招待)で、コンソーシアムのメンバーの構成を説明する予定です。その後、候補者の構成は、いかなる変更もITER機構に通知することなく変更してはなりません。かかる認可の証拠は、すべてのコンソーシアムメンバーの法的に授権された署名者が署名した委任状の形式で、しかるべき時期にIOに提出しなければなりません。

【※ 詳しくは添付の英語版技術仕様書「**Scaffolding services at ITER Site**」をご参照ください。】

ITER 公式ウェブ <http://www.iter.org/org/team/adm/proc/overview> からもアクセスが可能です。

「核融合エネルギー研究開発部門」の HP : <http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/index.html>  
では ITER 機構からの各募集 (IO 職員募集、IO 外部委託、IO エキスパート募集) を逐次更新しています。ぜひご確認ください。